

## 第八章 寄生性と資本主義の腐朽化

司会：今月号は第八章で、レポートは島田実東京東部県協事務局長です。先月は、第七章「資本主義の特殊の段階としての帝国主義」の「五つの基本的指標」を中心に学びました。

今回は、資本主義の最高段階まで発達した帝国主義をレーニンは、「死滅しつつある資本主義」であると規定した内容を学びます。

それでは、島田さんお願いします。

### 死滅しつつある資本主義

島田：レーニンは、第七章で帝国主義の基本的な「純経済的概念」として五

つの基本的指標を規定したが、それに付け加えて、「さらに資本主義のこの段階が資本主義一般にたいしてもつ歴史的地位や、あるいは労働運動における二つの基本的傾向と帝国主義との関係をも念頭におくならば、帝国主義はこれとは別様に定義することができし、また定義しなければならぬ」（146頁）と述べています。

レーニンは、帝国主義を分析し、帝国主義を資本主義の最高の段階、つまり最後の段階と規定しました。「帝国主義は過渡的な資本主義として、あるいはもっと正確にいえば、死滅しつつある資本主義として、特徴づけなければならぬ」と述べています。

「ばならないという結論が生じる」（203頁）。しかし、自動的に崩壊するといっているのでは決してありません。

「この腐朽化への傾向が資本主義に急速な発展を排除する、と考えることは誤りであろう。いな、個々の産業部門、ブルジョアジーの個々の層、個々の国は、帝国主義の時代には、程度の大小はあるにしても、これらの傾向のうちのどれかをあらわしている。しかも全体としては、資本主義は、以前とは比較にならないほど急速に発展するものである。もともとこの発展は、一般にますます不均等となるばかりでなく、この不均等はとくに資本力のもっとも強い国々（たとえばイギリス）の腐朽化のうちにあらわれている。」（201頁）と指摘しました。

## ◆みんなの学習講座

「われわれの目の前にあるものは生産の社会化であって、(中略)私経済的および私所有的諸関係は、もはやその内容に照応しなくなっている外皮であって、この外皮は、その除去が人為的に引きのばされているばあいには不可避的に腐敗せざるをえないものであり、また、比較的長いあいだにこの腐敗状態をつづけることがありうる(不幸にして日和見主義の腫物の治療が長びくようなばあいには)にしても、しかし結局はかならず除去されるであろう」と、が明白となるのである。」(205頁)とレーニンは言っています。

帝国主義が資本主義の最後の段階であり、死滅しつづける資本主義、たという意味は、帝国主義段階の巨大独占が生産の社会化を極度に進め、社会主義の物質的基礎を成熟させるということであり、社会主義を中軸とした組織された労働者階級の力によるほかありません。

**司会**… ありがとうございませう。島田さんから簡潔に、「帝国主義は資本主義の最後の段階であり、死滅しつづける資本主義だ」という説明と、「だが自動的に崩壊するといっているわけはありません」と説明されました。わかりましたか。

**千葉**… イメージはするが、具体的にどういふことか、もう少し具体例をあげて説明してください。

**佐久間**… 私たちは本書に入る前に、6月号で「社会の発展法則、必然性」、7月号で「資本主義の成立・発展・衰退」を学習しました。

それは、レーニンが『帝国主義』論を発刊する前に、「帝国主義」について論じる者はいたが、社会主義の必然性、歴史的な意味合いを論ずる者はいませんでした。マルクス・エンゲルスの理論に基づき、新たな「帝国主義論」を解き明かしました。

『共産党宣言』(マルクス・エンゲル

ス著)の冒頭で「今日までのあらゆる社会の歴史は、階級闘争の歴史である。」と述べています。

『空想から科学へ』(エンゲルス著)では、「社会主義が歴史的必然である」と同時に、自然科学の法則と社会科学の法則との違いを述べています。

「この解放事業を成し遂げること、これが近代プロレタリアートの歴史的使命である。この事業の歴史的条件とその性質そのものを探求し、以てこれを遂行する使命をもつ今日の被抑圧階級に、彼ら自身の行動の条件および性質を意識させること、これがプロレタリア運動の理論的表現である科学的社会主義の任務である」とまとめています。

**司会**… 自然科学は「弁証法」どおり、法則に基づいて、「発生・発展・衰退」と、変化・発展します。社会科学の場合は、法則どおり変化・発展しますが、被抑圧階級の歴史的使命の自覚と運動抜きには、社会主義の実現は

ない!! と私たちの任務を明らかにしています。

島田さん、その後の説明をお願いします。

### 独占による生産力の「停滞」

島田：資本主義が、帝国主義段階に入り、独占資本が支配するようになると、技術を独占し、生産力の発展を抑えるという傾向が出てきます。これをレーニンが「停滞と腐朽化」といつています。

独占が新しい発明、あるいは技術を買収し、特許をにぎることによって、他に使わせないようにする。自分の手元に商品が売れ残っている間は、その新しい技術を使わず、生産力の発展に停滞をきたすことになりました。

このことは、生産力が発展しない、資本主義そのものの発展がとどまる、ということではありません。独占は、

非常に金のかかる技術をどんどん開発する力もっています。しかし、独占資本同士は、はげしい競争をしているのでそれに勝つために、その新しい技術を自分のところだけに用い、社会全体のものにはしません。競って技術開発をしながらも、競争があるために、他の経営者が用いるのを、おさえることをするというのです。

寄生性とは、生産から遊離した金利生活者層の増大、植民地搾取を基礎とした国家構造全体を指しています。

司会：島田さん、だいぶ簡潔にまとめましたね。同じ東部県協の佐久間会長から補足をお願いします。

佐久間：この講座を始めるにあたって4月号に●資本主義の発展の各段階「重商主義」「自由主義」「帝国主義」、●帝国主義段階の各局面「古典帝国主義」「国家独占資本主義」「新自由主義」に分けられると記しました。

資本主義は1648年、イギリスに

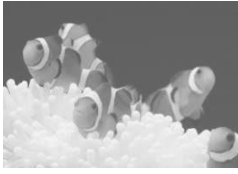
おいてブルジョア革命（ピューリタン革命）により誕生しました。1700年代半ばから1800年前半にかけての産業革命により、資本主義は産業資本を主要資本として、自立運動を展開します。この時代の資本主義は自由主義段階の資本主義であり、マルクスは先進資本主義であるイギリスのロンドンに住み「資本論」を著しました。

マルクスの死後、1873年から96年までの長期不況を契機に独占が発生し、資本主義は帝国主義段階に入ります。

5月号、6月号で明らかにしたように、自由主義の段階は、互いに「特別剰余価値をめぐる企業間競争で」生産力の発展がとどまらなくなります。しかし、この企業間競争で資本力の弱い資本は負けて、吸収合併され、資本の集積と集中が進み、「自由」の反対の「独占」の誕生を学びました。

「独占」が発生すると、市場を独占で

## ◆みんなの学習講座



インギンチャクとクマノミの関係は「共生」か？  
「寄生」か？

きるために、生産調整ができます。競争で市場価格が下がるのを抑え「独占価格」で販売することにより、「独占利潤」を得ます。国内市場だけでなく、しだいに国際カルテルなどを結び、国際的に市場独占が進んでいきます。

このもつともな典型が、先進資本主義国であったイギリスです。9月号【イギリスの当時の植民地図】です。生産力を高める生産手段の改良・開発技術が高まっていたが、手元に商品が残っている間は、新しい技術は使わずに生産力は停滞します。

例題が適切かわかりませんが、「池や沼」などは新たな清流が流れ込まな

いと、淀み、腐り、ガスが発生することがあります。経済も同様で、新しい技術が導入されず温存され、生産力は停滞し、社会まで腐ってくることでないでしょうか。

### 寄生性と金利生活者国家

「寄生」とは、元々は生物学用語であり、「共生の一種であり、ある生物が他の生物から栄養やサービスを継続的かつ一方的に収奪する場合を指す」言葉です。人間社会に当てはめれば、自らは働かず、もっぱら他人の労働またはその生産物の搾取によって生きることであり、腐朽化とは表裏一体の関係にあります。

資本主義が独占資本による支配と資本輸出を典型とする帝国主義段階に入ると、資本主義的矛盾はますます拡大・深化していく。レーニンは、それを「資本主義の寄生性」「腐朽化」と

呼びました。

「帝国主義のもつとも本質的な経済的基礎の一つである資本輸出は、金利生活者層の生産からのこの完全な離脱状態をさらにいっそう強め、いくつかの海外の諸国や植民地の労働の搾取によって生活している国全体にたいして、寄生性という刻印をおす。」(162

頁)と述べ、「金利生活者の収入が、世界最大の『貿易』国の外国貿易からの収入を五倍もうまわっているのだ！これが、帝国主義と帝国主義的寄生性の本質である。」(163頁)と規定しました。シュルツェルグーヴァニッツの描写を引用し「一八六五年から一八九八年にいたるあいだに、イギリスの国民所得はほぼ二倍になったが、この期間『外国から』の所得は九倍に増加した。」(170頁)と立証しています。

イギリスは、資本主義が帝国主義段階に入る前から「世界の工場」として

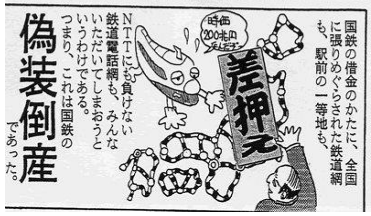
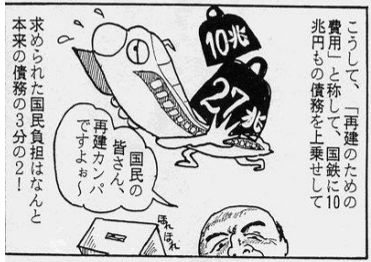
市場を独占し、植民地から超過利潤を得ていました。だが、ドイツ、フランス、アメリカなどの後進資本主義国が続き、市場分割を求める帝国主義戦争の不可避性が現れます。

### 現代帝国主義は、 新自由主義の局面

司会：ありがとうございます。続いて現代帝国主義についてもレポートしてもらいました。

島田：第二次世界大戦後、世界的に組織された国家独占資本主義は、恐慌を回避することに成功しました。それはアメリカの卓越した経済力と軍事力によるものです。

しかし、1971年ニクソン政権は「金・ドル交換停止」を決定し、内外に宣言しました。ドルは金と兌換されることにより基軸通貨たり得たのであり、各国通貨は金とリンクされ、為替



の固定相場制は維持されてきましたが、維持できず、73年に「変動相場制」に突入しました。折しも「石油ショック」と重なり、アメリカのインフレは全世界に波及し、ハイパーインフレーションの様相を呈しました。

恐慌、不況を回避するという国家独占資本主義はその機能を喪失し、破綻しました。

資本主義各国は「危機脱出の模索」が続きますが、1979年イギリスではサッチャー政権が、1980年レー

ガンが「小さな政府・強い国家」を標榜し米大統領に、日本は1981年に中曽根が登場し、「新自由主義」の全面展開となりました。

### 新自由主義 (政策) とは何か

国家独占資本主義の局面が崩壊し、帝国主義は新たな「新自由主義」の局面に入ります。国家は経済に介入すべきでない、国家独占資本主義の局面でつみあげてきたすべての規制の撤廃

## ◆みんなの学習講座

を国家に課しました。

市場原理を貫徹するためには、第一に、「労働力の流動化」を主張し、市場原理の最大の障害だとし、労働組合の存在そのものを否定しました。総評の解散、連合の成立でたたかわない労働組合づくりが資本の要請で進みます。

第二に、社会保障の撤廃、社会福祉の撤廃です。生活保護、失業保険、医療保険、年金などすべて改悪です。

第三に各種国営・公営企業の民営化です。中曽根は、国家権力を総動員し国労つぶしを行い、日本国有鉄道を分割・民営化（JＲ）しました。小泉は自民党をぶつ潰すと言いながら「郵政の民営化」を貫徹しました。

### 日和見主義とのたたかいが重要

司会：現代帝国主義の基本的な整理ができました。続いて、日和見主義の台頭と日和見主義とのたたかいについて

説明して下さい。

島田：労働運動における日和見主義の発生の根拠をレーニンは、イギリスにおける労働貴族を例にとつて説明しています。帝国主義が植民地から搾取、収奪した利益の一部を分け与えられた上層、熟練労働者が労働貴族化し、ブルジョアと同盟し、労働者大衆の利益を裏切ることです。

そして、「寄生性・腐朽化」は資本家だけではなく労働者階級の発生による労働運動の右傾化、それともなう労働者政党の体制内化がおこってきます。『帝国主義』論の中で、カウツキ「など右翼日和見主義・修正主義批判の章は、前段の帝国主義の経済的・政治的分析に劣らず重要です。」

レーニンは、カウツキから「ドイツ『社会民主』党の指導者たちが、『社会帝国主義者』すなわち、ことばのうえでは社会主義者、行動のうえでは帝国主義者」（177頁）と、断じて

います。

帝国主義が資本主義の最後の段階であり、死滅しつつある資本主義、という意味は、帝国主義段階の巨大独占が生産の社会化を極度に進め、社会主義の物質的基礎を成熟させるといふことであります。それを実現するのは、社会主義政党を中軸とした組織された労働者階級の力によるほかありません。

しかし、今日の日本を見てください。ナショナルセンターの連合指導部は多国籍資本の代弁者であり、「口さきでは組合員のために、行動は帝国主義的海外進出支援」という社会帝国主義者に外ならないと思います。国民の7割が反対する「安倍元首相の国葬」へ、芳野連合会長が出席するなどあつてはならないことと思います。

司会：次回、第九章で日和見主義について、再度、学び合いたいと思います。次回は、東京西部県協福田会長がレポートします。